

令和2年1月 斐伊川水系水質情報

令和2年1月(宍道湖:17日・中海:15日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.8	△	平年並み	3.4	△	平年並み	3.8	△	平年並み
全窒素	上層	0.49	△	平年並み	0.38	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.040	△	平年並み	0.025	○	良好(平年並み)	0.035	△	平年並み
Chl-a	上層	24	△	平年並み	16	△	平年並み	23	△	平年並み
塩化物イオン	上層	4,720	☆	かなり高い	14,000	×	やや高い	12,400	×	やや高い
	下層	4,760	×	やや高い	16,900	△	平年並み	12,600	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.2		やや高い	9.8		平年並み	11.4		平年並み
	下層	12.5		やや高い	7.8		やや高い	11.0		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.3	やや上昇	3.4	横ばい	4.6	やや下降
全窒素	上層	0.46	横ばい	0.33	横ばい	0.43	横ばい
全リン	上層	0.022	やや上昇	0.025	横ばい	0.036	横ばい

宍道湖の透明度は2.7mから1.4mと下降し、平年並みとなった。中海の透明度は2.1mから2.3mと横ばい。米子湾の透明度は1.7mから1.9mと横ばいになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

↑	★	<非常に高い>
↑	☆	<かなり高い>
↑	×	<やや高い>
↑	△	<平年並み>
↑	○	<良好>
↑	◎	<かなり良好>
↓	○	<やや低い> (塩化物イオン)
↓	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

平均値+標準偏差値の3倍
 平均値+標準偏差値の2倍
 平均値+標準偏差値
 10年間平均値
 平均値-標準偏差値
 平均値-標準偏差値の2倍
 平均値-標準偏差値の3倍

ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。

ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%